



平成22年4月25日の選挙において新しく選出された議員の方々

6月定例会

平成22年度
6月補正予算

44億7189万円を原案可決

子育て支援の推進へ

臨時会

議長に田坂信一議員、副議長に八木健治議員が就任

改選後初となる臨時会が6月2日に開催され、議長に田坂信一議員（松山維新の会）、副議長に八木健治議員（公明党議員団）が選挙の結果当選しました。

また、常任委員、議会運営委員の選任及び正副委員長互選が行われました。

平成22年第3回定例会が、6月18日の開会から20日間にわたって開催され、7月7日に閉会しました。開会日には、市長から予算案等の提案説明がなされたほか、永年勤続議員の表彰が行われました。6月24・25・28・29日には16人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたり活発な議論がなされました。ついで、6月30日、7月1・2日には6常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案や請願などの慎重な審査が行われました。その結果、議案17件がいずれも原案のとおり可決あるいは同意されました。また、請願3件については、いずれも閉会中も継続して審査することとなりました。

就任に寄せて



議長 田坂 信一



副議長 八木 健治

私ども両名は、このたび栄誉ある松山市議会議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その職責の重さを改めて痛感いたしております。もとより微力ではございますが、本市議会に対する市民の皆様の負託に応えるため、一生懸命努めてまいりたいと存じます。

さて、国政における政権交代の中、その変革の波が地方へも押し寄せてきており、今まさに、地域主権の必要性は大きな期待感となって、高まってきております。

そのような中、本市議会といたしましても、不断の議会改革等を推し進めながら、行政のチェック機関としての役割を果たすとともに、分権の一翼を担う能動的な存在として、市民の皆様に信頼される議会を目指し、活動していかなければならないと考えております。

市民の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解と、温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された6月補正予算の主な事業は次のとおりです。

- 優良建築物等整備支援事業
大街道2丁目東地区において民間施工者が実施する再開発に向けて、事業費の3分の2を国と市が補助し、中心市街地の活性化を図ります。
- Matsuyama P's (J-POSS) Festivalの開催
市民が憩える都市公園として生まれ変わった城山公園において、オープン記念の一環として野外ライブをはじめとするイベントを開催します。
- 城山公園オートムフェスティバルの開催
城山公園の活性化を図るため新聞社や放送局などのメディアと行政が一体となり、城山公園とその周辺において、オートムフェスティバルを開催します。
- 緑の分権改革推進事業
低炭素社会への転換を図るため、地域におけるクリーンエネルギー資源の利用可能性等について調査し、活用策を検討します。
- 保育所の創設と施設整備
私立保育所の創設や増設に伴う費用を補助することにより、待機児童の解消を図ります。
- 児童クラブの施設整備
入会児童数が増加したことにより大規模化している児童クラブや、手狭となった児童クラブの施設整備を行います。
- 体験学習を通じた人間力の育成
子どもの豊かな人間性や社会性を育み、「人間力」を育成するため、新たに坂本地区において農業・文化体験活動を実施します。
- 避難標識の整備
大規模災害時において、住民や観光客等を速やかに安全な避難場所に誘導するため、老朽化した避難誘導標識をより分かりやすい標識に改修します。
- 議員提出議案
● 地域主権検討特別委員会の設置
地域主権時代に向けた議会活性化の実現にあたり、議会制度のあり方や開かれた議会づくり等について、総括的に調査研究を行います。
- 水資源対策特別委員会の設置
本市の重要課題である水問題について、平成17年に採択された「新規水源の確保に関する決議」等を含め、改選前に引き続き協議を行います。